

## 3 利用促進

2018年度の利用促進について、報告する。

### 1-1 利用推進協議会

利用推進協議会は、産学官が連携して当研究センターの利用を推進することを目的に2004年11月に発足した。主に協議会のネットワークを通じて、利用課題募集の情報、各種セミナー及び講習会の開催情報等をメールにより提供していたが、2018年11月をもって廃止した。会員登録者に対しては引き続きメールにて情報提供を行うこととした。

### 1-2 利用相談等

企業、大学及び公設試験研究機関等からメール、電話及び来所等により多くの利用相談が寄せられ、利用コーディネーター（所長）を中心に随時相談に対応した。

また、実験終了後に実験責任者からビームタイム利用記録兼アンケート用紙を収集し、その要望を基に利用改善に努め、必要に応じて実験責任者へ報告を行った。

さらに、当研究センターの利用サービスの詳細をまとめた「利用の手引き 2018」を配布した。

### 1-3 講習会等

当研究センターでの利用促進を図るため、「SAGA-LS サマースクール 2018」（2018年8月22日～24日、5名参加）を実施した。また、企業利用支援セミナーを開催し、県内企業の利用促進に努めた。詳細は、V章で述べる。

### 1-4 光ビームプラットフォーム

2013年度4月から、文部科学省先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業に基づいて、当研究センターを含めたシンクロトロン放射光施設6機関

とレーザー施設2機関で構成される「光ビームプラットフォーム」(<http://photonbeam.jp/>)に参画している。

全国的な視野で利用情報の発信、共通技術の開発、人材交流等を行い、利用者の利便性向上や裾野の拡大に取り組んだ。参画機関は以下の8機関である。

[代表機関]

- ・大学共同利用機関法人高エネルギー加速器研究機構（物質構造科学研究所）

[実施機関]

- ・公益財団法人佐賀県地域産業支援センター九州シンクロトロン光研究センター
- ・公益財団法人科学技術交流財団（あいちシンクロトロン光センター）
- ・立命館大学（SRセンター）
- ・公立大学法人兵庫県立大学（高度産業科学技術研究所）
- ・学校法人東京理科大学（総合研究機構赤外自由電子レーザー研究センター）
- ・国立大学法人大阪大学（レーザーエネルギー学研究センター）

[連携機関]

- ・公益財団法人高輝度光科学研究センター（SPring-8登録施設利用促進機関）